

解答・解説

まず、総当たり戦なので試合表を書いて情報をまとめる。

そして、一つ目の条件から引き分けがなく、同じ順位がない(勝ち数が異なることから分かる)ことから、以下のことが分かる。

- 1位から5位の勝ち数が異なる
- 1位が4勝0敗 2位が3勝1敗 3位が2勝2敗
- 4位が1勝3敗 5位が0勝4敗

このことが分かった上で表を作る。

	A	B	C	D	E
A		○			
B	×			○	
C					×
D		×			
E			○		

AはCよりも勝ち数は少なかった。

条件のみで表を埋めると、上表のようになる。ここから、全勝と全敗を探す。

まず、全勝になれるのはAかE(×がついてない)だけ。

ただし、一度負けているCよりAは勝ち数が少ないので全勝はありえない。

よって、全勝はE。

また、全敗はCかDだが、先ほどと同様にCは1度勝っているAより勝ち数が多いのでCの全敗はありえない。

よって、Dが全敗。

以上のことを踏まえて表に○×を入れると、

	A	B	C	D	E
A		○		○	×
B	×			○	×
C				○	×
D	×	×	×		×
E	○	○	○	○	

後は、CとAの勝ち数がCの方が多いようにするには
Cが3勝しなければならない。

	A	B	C	D	E
A		○	×	○	×
B	×		×	○	×
C	○	○		○	×
D	×	×	×		×
E	○	○	○	○	

よって、正しい選択肢は 1